## R7取組実施プロセスシート 企画財政部

Ma 所管		計画	事業名	細事業名	取組名	取組の概要	年度目標	年度計画	進捗度	進捗状況及び課題	
企宜面面	・ 分野別目標 5.変革の歩みを 止めない川西の 実現	施策	行政経営推進事業	行政経営推進事業	DXに向けた事業再検証	市民サービス向上及び業務効率化に向け、DXをテーマにした事業再検証を実施します。	【4月~10月の目標】(全体達成率:70%) 申請関係のオンライン化等に向けた課題整理と 見直しの方向性を審議会の意見を踏まえて決定 する。 【11月~3月の目標】(全体達成率:100%) 引き続き検討が必要な取組み項目の整理及び 方向性の決定	4月:行財政改革審議会開催(委嘱、諮問) 審議会の部会立ち上げ			:
2 財 耳	5.変革の歩みを 止めない川西の 実現	12.行政経営	行政経営推進事業	行政経営推進事業	公募型補助金の募集及び交付 決定	市が募集するテーマについて、広く一般の団体に向けて募集を行い、特定の団体に偏ることなく、支援する機会を提供します。	市が募集するテーマについて、広く一般の団体に向けて募集を行う。 【11月~3月の目標】(全体達成率:100%) 団体から提案のあった事業内容について審査会において審査、選考を実施し、補助金の交付決定を行う。	5月:補助金要綱等の作成 6月:審査会を付属機関として位置づけるため、条例改正 7月~9月末:団体からの事前相談受付 10月1日~10月末:募集受付 11月:審査会にて審査及び選考 12月:交付決定 【見直し後スケジュール】 9月:審査会を付属機関として位置づけるため、条例改正 10月:既存団体への説明 11月~12月:募集受付 1月:審査委員会にて審査及び選考 2月:交付決定	<b>→</b>	生活常任委員会に諮り、継続審査となる。 7月、8月:公募型補助金について仕組みの詳細を検討。 9月:公募型補助金の概要を総務生活常任委員協議会で説明。	を で課 で課 で課 で課 で課 で課 で課 で で で で で で で で で で で で で
	5.変革の歩みを 止めない川西の 実現	12.行政経営	ICT推進事業	ICT推進事業	システム標準化への対応		【4~9月の目標】(全体達成率:40%) ガバメントクラウド上に標準準拠版住民情報システム環境を構築 更改の対象となる機器等を調達し展開を準備	4~6月:システム間連携調整、開発環境の構築、機器等調達、アドオン開発着手、文字同定 アトオン開発着手、文字同定 7~9月: 帳票テスト、規定等改正検討、本番環境の構築、機器 展開準備 10~12月:データ移行、データ連携、各種テスト、研修、操作 デモ、システム切替え準備 1月:本稼働開始 1~3月:本稼働後運用整理、年度切替準備	<b>→</b>		
4 財 排	5.変革の歩みを 止めない川西の 実現	12.行政経営	ICT推進事業	ICT推進事業	生成AIによる業務効率化	生成AI技術を用いた業務効率化に取組みます。	【4~9月の目標】(全体達成率:70%)_	4~6月:企画政策課と共同で会議録の文字起こし及び要約業務へのAI活用を検証・手順化し、庁内へ横展開7~9月:上記以外で、生成AIの業務活用を利用課と協力して事例化するとともに、合同説明会等を実施することで多くの職員が生成AIツールを経験し、習熟するよう働きかけ10~3月:テンプレートや各種機能を共有することで、より業務に即した活用を促進するとともに、生成AIの具体的活用事例などを適宜情報発信		4月:新規採用職員の初任者研修で生成AIの使用方法を説明した。企画政策課が4月16日に「生成AIを活用した議事録作成の操作説明会」を実施し、それに伴い議事録作成支援システムのアカウントを所属毎に付与した。5月:業務効率化事例に向けた情報収集のため、事業再検証のアンケートに生成AIに関する設問を設定。6月:生成AIツールのアップデートに伴い、Web版が利用可能となり、使い方のマニュアルや合同研修会の案内を通知。7月:生成AIツールのマニュアルを更新し「ファイル添付」や「プロンプト作成」について通知。8月:生成AIを活用した業務効率化の事例化に向けて秘書課と協議を実施。9月:生成AIを活用した業務効率化事例の通知に向けて秘書課と最終調整を実施。10月:生成AIツールのマニュアルを更新し、『市長への提案』の回答作成に活用できるようにした。	課 :